

2年生修学旅行

2年生は10月12日から3泊4日の日程で、東京方面への修学旅行に行ってきました。

天候にも恵まれ、浅草散策や東京ディズニーランドを楽しみ、フジテレビの番組作成体験やシルクドソレイユの鑑賞も大変貴重な経験となりました。その中でも班別自主研修では、東京のラッシュの中で切符を買って移動し、迷いながらも全員無事帰って来られたことが一番貴重な体験となりました。



ナマズプロジェクト・ミツバチプロジェクト開始

耕作放棄地を池に変えてナマズ養殖、レンゲを咲かせてミツバチ飼育、そんな研究をしています。



先日、600匹のナマズの稚魚を入れ飼育を開始しました。ナマズは栄養価も高く、軌道に乗れば飼育も簡単です。また、さまざまな料理にでき、関東では1kg2,000円以上で取引されており、それだけにビジネスチャンスも大きいと考えています。

また、レンゲが咲けば景観も良くなり、蜂蜜も得られ高収入を得ることが出来ます。更に種まきからイベントで行い、町外からの労働力を集め、さらに町の応援隊になってもらおうと考えました。夏にミツバチを増殖させ、花粉交配用として全国の農家さんに届け、農業生産増加にもつなげたいと考えています。



「ごはんDE笑顔プロジェクト選手権」

産業ビジネス科は、さまざまな大会で好成績を挙げています。北海道で行われた農業クラブ全国大会優秀賞受賞に続き、全国農業協同組合中央会が主催する「ごはんDE笑顔プロジェクト選手権」中国四国地区大会で準優勝し、11月21日、パナソニックセンター東京での全国大会に出場します。ミツバチの可能性やレンゲ祭りのことを全国放送でしっかりアピールしてきます。



新着本紹介

- ・優しいおとな
- ・マリアビートル
- ・キリン
- ・一週間
- ・アリアドネの弾丸
- ・姫谷友情
- ・往復書簡
- ・終わらざる夏 上・下
- ・シズコさん
- ・獣の奏者 外伝
- ・だいじょうぶ3組
- ・くじけないで
- ・ストーリー・セラ

- 桐野 夏生/著 中央公論新社
- 伊坂幸太郎/著 角川書店
- 山田 悠介/著 角川書店
- 井上ひさし/著 新潮社
- 海堂 尊/著 宝島社
- 藤井登美子/著 WINK BOOKS
- 湊 かなえ/著 幻冬舎
- 浅田 次郎/著 集英社
- 佐野 洋子/著 新潮社
- 上橋菜穂子/著 講談社
- 乙武 洋匡/著 講談社
- 柴田 トヨ/著 飛鳥新社
- 有川 浩/著 新潮社



シルトピアカレッジ図書館 ☎82-2002

2010 12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

● 休館日 ■ 絵本のおはなし会

『第11回 図書館まつり』を開催します！

日時：11月28日(日曜日) 午前10時～午後3時

絵本の会「ゆきんこ」のみなさんによる読み語り・大型紙芝居やパネルシアター、「ライム Mint」によるバルーンアートの実演などがあります。

来月の「絵本のおはなし会」

12月も絵本の会「ゆきんこ」のみなさんによる楽しい絵本のおはなし会があります。みなさんぜひ聴きにきてください。

とき 12月4日(土) ひる2時～ 12月18日(土) ひる2時～ ところ シルトピアカレッジ図書館 (児童図書コーナー)

正しい手洗い方法

- ① 手のひらをあわせ
力強く! 5秒間
- ② 手の甲を伸ばすように
右も左もゴシゴシ! 5秒間
- ③ 指先、つめの間もしっかりと
渦を描くように 5秒間
- ④ 指の間も十分に
よくこすりあわせて! 5秒間
- ⑤ 親指を手のひらでねじり洗い
親指も忘れずに! 5秒間
- ⑥ 手首も忘れずに
5秒間

③ 泡立えます。

② ① まず流水で手を洗います。せっけんをつけてしっかりと泡立えます。

保健福祉センターだより

家族で身につけよう 正しい手洗い・うがい

これから特に予防が必要な、かぜ・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染を防ぐため、こまめな「手洗い」や「うがい」を励行しましょう。

「手洗い」や「うがい」の効果的な方法をご紹介します。

正しいうがい方法

- ① はじめに、口をゆすぐ。
- ② 次に、喉の奥までしっかりとうがいをする。(複数回繰り返す)
- ④ 流水で、せっけんと汚れを十分洗い流します。
- ⑤ 清潔な乾いたタオルで水分をしっかりとふき取ります。(汚染されたタオルを共用すると、タオルが感染源となつて感染が拡大することがあります。)

お問い合わせ
保健課
☎89-3366

えいごの通信

産学課 ☎800-0001

特集 22年度の水稲について(後編)

水稲生育状況について

今年の生育は、田植期頃の低温、登熟期の猛暑など気象条件に大きく影響されました。特に登熟期の高温による品質低下が懸念されます。不利な条件にも打ち勝てるように生育後半まで根・葉が活力を保てる稲づくりが大切です。

高温登熟障害とは?

出穂後20日間の日平均気温が26℃を超えると、米粒が白く濁って見える乳白粒、背白粒、基部未熟粒などが急激に増加することです。登熟期のイネの活力を維持し、活発な光合成を促すことが必要です。

次年度に向けての対策

極端な早植えをせず、田植え時期を遅らせることで、出穂期、登熟期の高温の影響を回避することができます。過繁茂とならないよう植え付け間隔を広げたり、基肥の量を調節したりしましょう。また根や葉の活力を維持するため、登熟期の早期落水を防止します。生育後半の肥料切れは、稲の活力低下により未熟粒が増えるため、出穂前に極端に葉色が落ちない施肥管理を行います。堆肥や土壌改良資材を施用し、不良環境に耐えられるような土づくりを行いましょう。

